

吉身学区「助け愛よしみ」の取り組みについて

1 構成員

- ・ 設立当初(H28.4)、学区社協総務委員会の10人
- ・ R3.4、各自治会1名を追加し、計20人に再編

2 おもな活動の経過

H29.9：一人暮らし高齢者を対象にアンケートを実施

R1.7：近隣の商店等を記載した「地域密着型便利帳」を作成・配付

R3：ごみ出しボランティア活動の検討

活動の有償・無償、利用料の有料・無料、活動者の確保、利用者の要件、安全対策・保険、活動より挨拶が大事、など、活発な意見交換がなされた。

⇒学区で統一した活動は難しく、自治会ごとに取り組むことになった。

R4.1：ごみ出しボランティア活動の開始

3 ごみ出しボランティア活動の利用状況（R5.6 会議での報告およびその後の聞き取り）

- ・ 10自治会のうち、2自治会で実施あり。
- ・ A自治会では、過去に、ケガをされた時だけの利用、また訪問介護サービスの開始に伴い終了となったケースがあった。現在は、段ボールや新聞で2人、また日常ごみで1人、計3人が利用されている。
- ・ B自治会では、活動開始前から地域住民にごみ出しを支援してもらう人が2人おられ、また開始後に新たに希望された人が1人おられた。現在、この3人が、ごみ出しボランティアの活動ではなく、地域住民のつながりの中でごみ出しをお願いされている。

4 学区から自治会へのお願い事項（R5.6時点）

- ①現在は多くの自治会でごみ出しボランティアの利用がありませんが、今後、利用の希望があった時に、すぐに対応できる体制づくりをお願いします。
- ②各自治会の役員会で、「ごみ出しボランティア」や「助け愛よしみ」の取り組みを議題としていただき、共通の認識や理解をお願いします。

玉津学区「支え愛プロジェクト」の取り組みについて

1 構成員

- ・ 設立当初(H28.4)、学区社協総務委員会の7人
- ・ R3.4、自治会代表4人と関係団体代表7人、計11人に再編

2 おもな活動の経過

- H31.3：地域の居場所や相談先などを記載した「支え愛マップ」を作成・配付
- R1.9：見守り活動の対象としている高齢者に、お出かけや困りごとの調査を実施
- R3.4：生活支援サービスなどを記載した「困りごと相談・支援の'わ'」を作成・配付
- R3.4：自治会による生活支援ボランティア活動を推奨
- R4・R5：送迎サービス活動の検討

実施地域の研修・学習、運輸支局への相談、活動者の確保、自動車の確保、事故対応や利用者の要件等の確認、など

- R6：送迎サービス活動の開始（予定）

3 送迎サービス活動の概要（R5.12時点）

- 事業名 玉津学区地域支え愛送迎活動
- 対象 一人暮らし高齢者、障がい者、その他（高齢者のみ世帯、昼間独居など）
市内の通院・買い物・行政機関の送迎（通院で近隣の場合は市外可）
月2回まで
- 利用料 10円/km、ただし車庫出から車庫入まで
- 運転者 6人
- 自動車 守山市社会福祉協議会の軽自動車1台を使用
- 保険 自賠責保険、任意保険、ボランティア活動保険